

別紙4 モニタリングレポートの様式例

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

1. 基本情報

施設名	美馬市地域交流センターミライズ
施設所在地	美馬市脇町大字猪尻字西分116番地1
指定管理者名	あなぶき・TRCグループ
評価期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
所管課	美来創生局 にぎわい交流課

2. 評価結果

項目	評価内容（市コメント）
①業務の履行状況	業務概要は、ホール・地域交流スペース（公民館機能）・図書館等を兼ね備えた複合施設。 ホール及び地域交流スペースの年間利用者は約50,000人。 図書館の来館者は約118,000人（うち貸出し利用者は約26,000人）。 使用料については、月次報告により適正に徴収されていることが確認できている。職員配置については、出勤簿、業務日誌により適正な配置が確認できた。また、職員研修も危機管理研修等に積極的に取り組んでいる。
②サービスの質、独自採算事業	イベント来場者は施設利用者にアンケート調査を行い、利用者の声を拾う取組を進めている。 市広報誌やSNSを活用して情報発信も行い、施設の利用促進に努めている。 また、ミライズカルチャー講座や木屋平地区への出張図書館の実施など、美馬市生涯学習促進へも寄与している。
③サービス提供の継続性・安定性	ホールは、各種イベントの他、美馬市文化祭や成人式、保育所の発表会や小・中学生の音楽会、市内各種団体による芸能発表会や会合などで利用されている。地域交流スペースは、市内外を問わず個人や団体、民間事業者などから、会合や各種活動の場、定例の教室開催などで利用されている。 図書館についても、月2回のおはなし会や将棋サロンなど各種イベントを開催し、幅広い年齢層に図書館を楽しんでもらえる工夫を行い、利用促進を図っている。
総合評価	A 概ね協定書等の内容どおり、適正な管理運営が行われていることが確認できた。

3. その他（今後の課題や改善に向けた取組み）

利用実績や利用者の要望などを踏まえ、新型コロナウイルス感染症策においては、「業種別ガイドライン」及び、「とくしまスマートライフ宣言」に則った措置をとり、指定管理者と連携を密にすることで更なる利用促進に取り組む必要がある。